

復活節第五主日礼拝

〔主日朝礼拝式次第〕

【入祭の部】

前 奏 (黙禱)
「天の座にいます」(讃美歌21の322番)
J.ベツォルト作曲

あいさつ
讃 美 讃美歌 21/321 番
開会の祈り
交読詩篇 詩編 138 篇 6~8 節

【第一部 み言葉の礼拝】

聖 書
✦ヨハネによる福音書 21 章 1~14 節
(新約 P.161)
応 答 唱 讃美歌 21/331 番
教 話 井上隆晶牧師
『何もとれない漁』

使徒信条

【第二部 聖餐礼拝】

奉 献 讃美歌 21/72 番
教会の祈り (連禱)
平和の挨拶
讃 栄 讃美歌 21/83 番
主のいのり
陪 餐

【応答と派遣と祝福】

讃 美 讃美歌 21/335 番
感謝の献物
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番
派遣の言葉
祝福の祈り 井上隆晶牧師
後 奏 (黙禱)
「ハレルヤ。主をほめたたえ」
(讃美歌 21 の 169 番)
H.ビーツ作曲

【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 屋宮英男
奏 楽 鹿野幸枝
献金当番 山千代誠子
受付当番 澤田真弓

【本日の予定】

◇教会学校 (朝 9 時 30 分)
・お話し: 澤田昌人
◇讃美歌練習 (礼拝後)
◇合同祈祷会 (礼拝後)
◇定例役員会 (午後 1 時)

【今週の教会での集会のご案内】

◇朝の祈祷会
・5月7日(木) 午前9時
◇英会話グループ
・お休みです。

【次週主日5月10日のご案内】

◇教会学校礼拝 (午前9時30分)
・お話し: 井上万里子
◇主日朝礼拝 (午前10時30分)
・聖 書
✦Iペトロ 5: 1~7
✦ヨハネ 21: 15~19
・教 話 井上隆晶牧師
『わたしに従いなさい』
・讃美歌 21 330、331、325
・交読詩篇 詩編 139: 1~10
・司式補佐 寺田律子
・奏 楽 飯田雅子
・献金当番 小淵公子
・受付当番 澤田昌人
◇讃美歌練習 (礼拝後)
◇合同祈祷会 (礼拝後)
◇教会学校教師会 (礼拝後)

聖 句

「さて、陸に上がってみると、炭火がおこしてあった。その上に魚がのせてあり、パンもあった。」

(ヨハネ 21: 9)

【諸報告・個人消息】

- ①《今週の井上牧師の予定》: 8日(金) 午前9時30分「大宮保育園お誕生日会」~午後1時30分「職員昼礼拝」、午後6時「大阪キリスト教連合会研修会」、9日(土) 午前10時30分「ヘルパーステーション研修会」
- ②復活祭感謝献金を献げましょう。予算は35万円です。
- ③《5月の教会行事予定》
 - 5月3日(日) 午後1時「定例役員会」
 - 5月8日(金) 午後6時「大阪キリスト教連合会研修会」: 『アメリカの福音派』
 - 5月10日(日) 礼拝後「教会学校教師会」
 - 5月13日(水) 午後2時「大阪YWCA 聖書を学ぶ会」参加費600円
 - 5月15日(金) ~16日(土)「第71回大阪教区定期総会」
 - 5月17日(日) 午後3時「一致祈祷会(救世軍天満小隊)」
 - 5月19日(火) 午前10時「心の病の勉強会」
 - 5月23日(土) 午後5時「ペンテコステ・ヴイジル(聖公会聖アンデレ教会)」
 - 5月24日(日) 午前10時30分「聖霊降臨祭」
- ④【先週の集会統計】

日	集会	男子	女子	大人	計	礼拝献金
26	CS礼拝	—	1	6	7	¥2,450
	集会	男	女	子ども	計	礼拝献金
26	朝の礼拝	6	15	3	24	¥15,450
28	朝の祈り	1	5	—	6	
30	朝の祈り	2	1	—	3	
1	朝の祈り	1	1	—	2	

⑤【4/26の献金報告】

[月定] 小淵公子、小淵賀裕 (計13,000円) [感謝] 寺田悠莉、中村恵子 (計5,201円) [イースター感謝] 菱田朱美 (計5,000円)



【週報表紙の続き】

「剣を火の中に入れると鉄は真っ赤になり、切りもすれば焼きもするという二つの働きをすることができるようになります。キリストは神性によって一人の娘を蘇らせ、人間性によって娘を支えて起き上がらせませす。キリストは神性によってラザロを蘇らせ、人間性によって墓の前で涙を流します。ここでも、キリストは神性をもって扉を通り抜け、人間性によって人に触れられ、魚を食べるのです。しかもその人間性は神性が浸透した人間性です。イエス様が弟子たちに復活の姿を現わしたのは、弟子たちがやがてもらうことになる「栄光の姿」を見せ、勇気と希望を与えて宣教に遣わすためでした。私は自分の身体がイエス様と同じような体になるという希望を抱いています。それは聖なる使徒たちも語っていることです。「神は前もって知っておられた者たちを、御子の姿に似たものにしよう」とあらかじめ定められました。」(ローマ8:29)
この世は悲しみと、苦しみで満ちています。それは人間に罪があるからです。それによって病気や災害や戦争や憎しみ、争いが起こってくるのです。私の中にも老いと病気と罪が満ちていて、それから自由になれません。それが人生のすべてだったら何という不幸でしょうか。しかし来るべき世界では、私は罪から自由になり、死はなく常に命に溢れ、病も老いもなく完全な者になるでしょう。すべての人間は甦るために、この世に生まれて来たのです。しかし人間の力だけでは甦ることは出来ません。地に降りてこられた神、死から復活した神キリストに結ばれて、初めて人は甦ることができるのです。福音は単なる知識ではなく、死んでゆく私の中に、死なないキリストが実体として出来上がる体験なのです。人の中にキリストが入ってきて、人を神化させ、だんだんと主と同じ形に変化させてゆくのです。これこそキリスト教の神秘です。死なない体に変容することが楽しみです。